

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2006-317701(P2006-317701A)
 【公開日】平成18年11月24日(2006.11.24)
 【年通号数】公開・登録公報2006-046
 【出願番号】特願2005-140008(P2005-140008)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/11 N

H 0 4 N 5/232 A

H 0 4 N 5/232 C

G 0 3 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月10日(2008.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体の動き方に応じた撮影条件ごとに、焦点調節時の被写体追尾力が対応づけて設定された複数の撮影モードのうちから特定の撮影モードを選択するモード設定部と、前記モード設定部により選択した前記特定の撮影モードに対応づけられた前記被写体追尾力に基づいて、前記焦点調節を行う焦点調節部と
 を備えたことを特徴とするカメラ。

【請求項2】

請求項1に記載のカメラにおいて、前記モード設定部は、前記複数の撮影モードとして、前記カメラの前方において略一定の方向に移動する動き方をする前記被写体を撮影する一定方向移動撮影モードと、前記カメラの前方において略一定の方向に移動する動き方以外の動き方をする前記被写体を撮影する移動方向変化撮影モードとのうち何れかが選択可能であり、前記一定方向移動撮影モードに対応づけて、前記移動方向変化撮影モードよりも大きい前記被写体追尾力が設定されている

ことを特徴とするカメラ。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載のカメラにおいて、前記モード設定部は、前記複数の撮影モードとして、前記カメラの前方において略一定の方向に移動する動き方をする前記被写体を撮影する第1の撮影モードと、前記カメラの前方において周回する動き方をする前記被写体を撮影する第2の撮影モードと、前記カメラの前方においてランダムに移動する動き方をする前記被写体を撮影する第3の撮影モードとのうち、少なくとも2つの撮影モードが選択可能であり、前記第1の撮影モードに対応づけて、前記第2の撮影モードよりも大きい前記被写体追尾力が設定され、前記第2の撮影モードに対応づけて、前記第3の撮影モードよりも大きい前記被写体追尾力が設定さ

れている

ことを特徴とするカメラ。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 項に記載のカメラにおいて、

前記焦点調節部は、所定の関数にしたがって前記被写体の像面の位置を予測して前記焦点調節を行うものであり、前記所定の関数のうち、前記像面の加速度の変化に関わる係数と前記像面の移動速度の変化に関わる係数との少なくとも一方を、前記被写体追尾力に基づいて変更して前記焦点調節を行う

ことを特徴とするカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明のカメラは、被写体の動き方に応じた撮影条件ごとに、焦点調節時の被写体追尾力が対応づけて設定された複数の撮影モードのうちから特定の撮影モードを選択するモード設定部と、前記モード設定部により選択した前記特定の撮影モードに対応づけられた前記被写体追尾力に基づいて、前記焦点調節を行う焦点調節部とを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、好ましくは、前記モード設定部は、前記複数の撮影モードとして、前記カメラの前方において略一定の方向に移動する動き方をする前記被写体を撮影する一定方向移動撮影モードと、前記カメラの前方において略一定の方向に移動する動き方以外の動き方をする前記被写体を撮影する移動方向変化撮影モードとのうち何れかが選択可能であり、前記一定方向移動撮影モードに対応づけて、前記移動方向変化撮影モードよりも大きい前記被写体追尾力が設定されているようにしても良い。

また、好ましくは、前記モード設定部は、前記複数の撮影モードとして、前記カメラの前方において略一定の方向に移動する動き方をする前記被写体を撮影する第 1 の撮影モードと、前記カメラの前方において周回する動き方をする前記被写体を撮影する第 2 の撮影モードと、前記カメラの前方においてランダムに移動する動き方をする前記被写体を撮影する第 3 の撮影モードとのうち、少なくとも 2 つの撮影モードが選択可能であり、前記第 1 の撮影モードに対応づけて、前記第 2 の撮影モードよりも大きい前記被写体追尾力が設定され、前記第 2 の撮影モードに対応づけて、前記第 3 の撮影モードよりも大きい前記被写体追尾力が設定されているようにしても良い。

また、好ましくは、前記焦点調節部は、所定の関数にしたがって前記被写体の像面の位置を予測して前記焦点調節を行うものであり、前記所定の関数のうち、前記像面の加速度の変化に関わる係数と前記像面の移動速度の変化に関わる係数との少なくとも一方を、前記被写体追尾力に基づいて変更して前記焦点調節を行うようにしても良い。